

銀行業務・デジタル資産・連携サービス

金融の新時代を、 貴社を中心に。

お客様にはシンプルな体験を。チームにはより大きな対応力を。Hybridエコシステムでは新たな事業機会を。

Hybrid Banking。OVRYPDEが統合を支援します。

01 / 戦略的な機会

基盤が進化しても、 顧客関係は貴社に。

次の決済、資産、サービスが、お客様との関係をさらに深めるものであるべきです。

01

顧客体験

承認済みの金融サービスを、貴社ブランドの顧客導線に取り込みます。

02

業務対応力

チームをまたぐ準備、審査、事後対応を結びます。

03

事業機会

共通基盤で新たな取引フロー、資産、サービス収益を評価します。

目指すのは、お客様のより多くの金融活動で信頼される接点になることです。

02 / ソフトウェア購入を超えて

つながる金融経済に参加する。

Hybrid Bankingは、幅広い機能と承認済みの事業関係にアクセスし、運営するためのレイヤーです。

中心にあるのは貴社

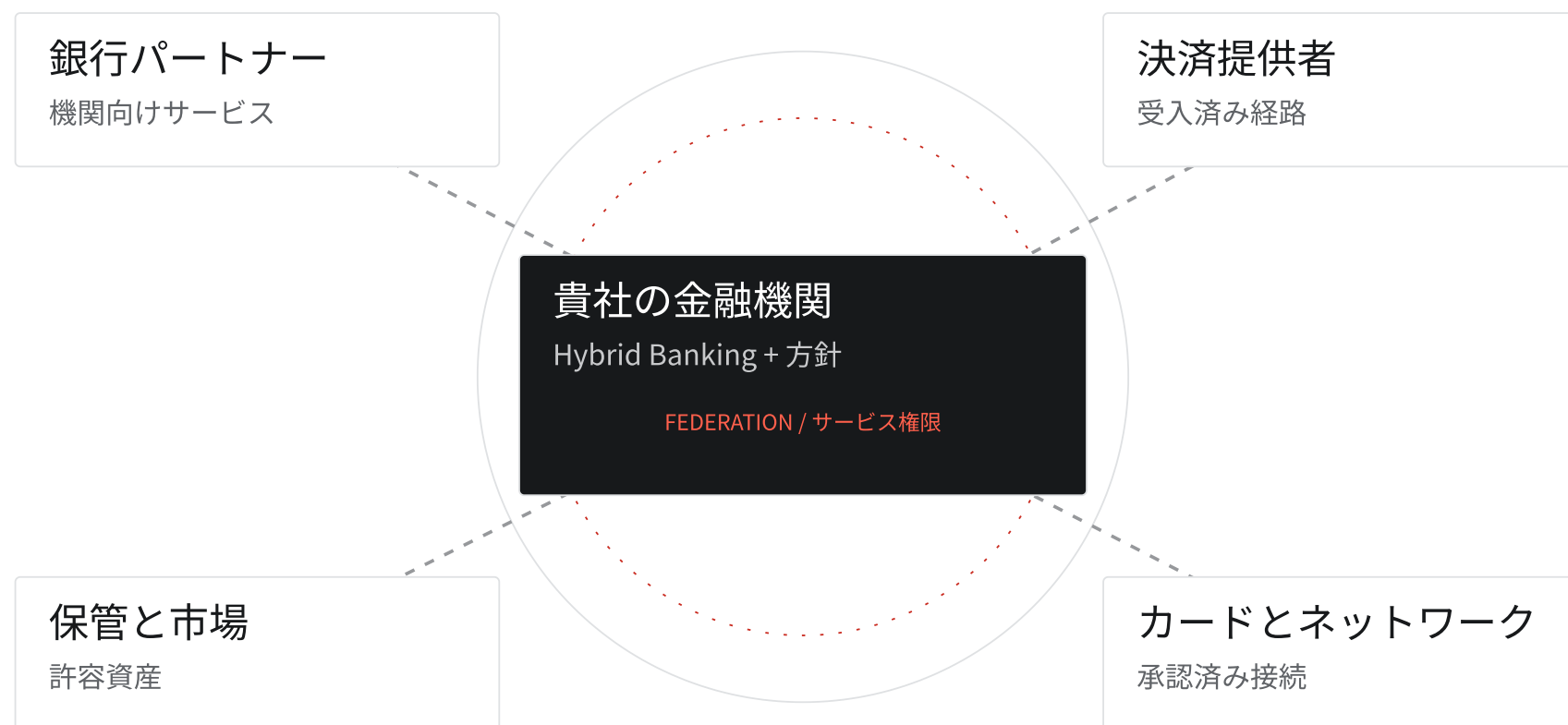
貴社のブランド、顧客関係、方針、正本となる金融記録を維持します。

再利用できる基盤

ID、業務空間、コア連携、ワークフロー統制、保護された証跡を共通化します。

広がる事業機会

認可銀行、決済事業者、カード発行会社、カストディアン、市場サービスとつながります。



03 / 最初の事業成果を選ぶ

お客様が次に必要とするサービスから始める。

一つの顧客層、一つの体験、一つの測定可能な成果を選びます。

- | | | |
|----|------------------|---|
| 01 | プライベートバンキング・資産管理 | 口座とポートフォリオの情報をまとめ、ウォレット、保管、投資サービスへの承認された経路を整えます。 |
| 02 | 決済・資金管理 | 受取人、送金準備、給与支払指図、審査を簡素化します。選定した外部経路は受入後に接続します。 |
| 03 | 銀行・EMI・新規事業 | 既存コアを生かして近代化するか、運営範囲を明確にしたHybrid Coreパイロットを評価します。 |

有効化したモジュール数ではなく、顧客維持、利用、サービスの採算を測定します。

使い慣れたID。 明確な次の一步。

最初の申込から日常取引まで、お客様の目的と進行状況を見えるようにします。

ログイン

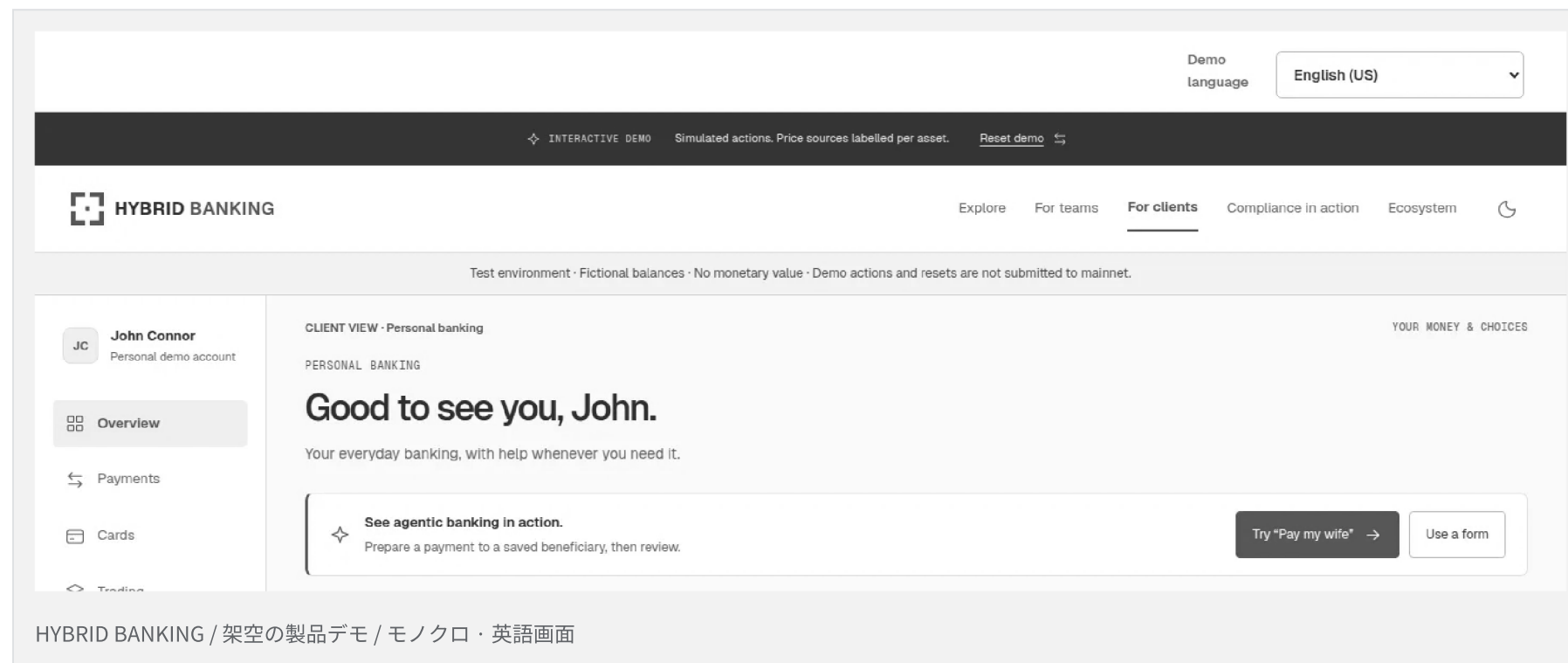
Hybrid-IDで認証し、必要な同意のもと、対応する本人確認情報を共有します。

顧客としての受入

金融機関が適格性を審査し、判断を記録してから口座アクセスを開きます。

取引・サポート

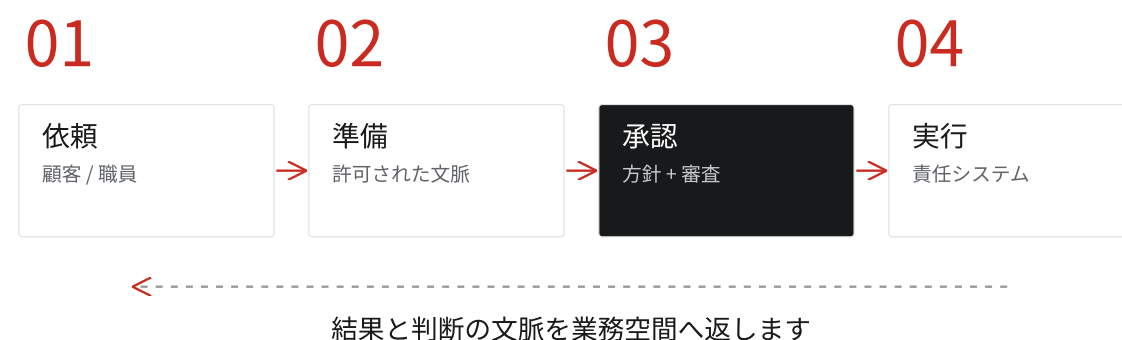
送金の準備、受取人の管理、金融情報の閲覧、サービス依頼を行います。



IDの再利用は重複入力を減らしますが、金融機関の審査は省略しません。

自然な言葉で依頼し、 権限に基づいて実行する。

支援型インターフェースが、通常画面と同じ統制のもとで業務を整理します。



準備

許容された意図を把握し、審査可能な指図にまとめます。

検証・承認

権限と方針を確認し、利用者の確認と必要な独立承認を得ます。

実行・説明

正本を管理するシステムを使い、実際の結果を返して判断の背景を保全します。

重要な判断に、 より多くの時間を。

依頼の到着から、審査可能な状態になるまでを測定します。

1,333

時間／月・計算例

創出時間の計算例

月10,000件 × 準備時間8分短縮 ÷ 60 = 月約1,333時間。

純効果を検証

追加審査、例外対応、サポート、基盤運用の工数を差し引きます。

余力を価値に変える

専門人材の再配置、サービス水準向上、実支出削減につなげ、結果を測定します。

07 / 体験に組み込む統制

審査には背景を。 判断には責任者を。

最新方針、証拠資料、案件履歴をチームの業務に統合します。

不要な引継ぎを減らす

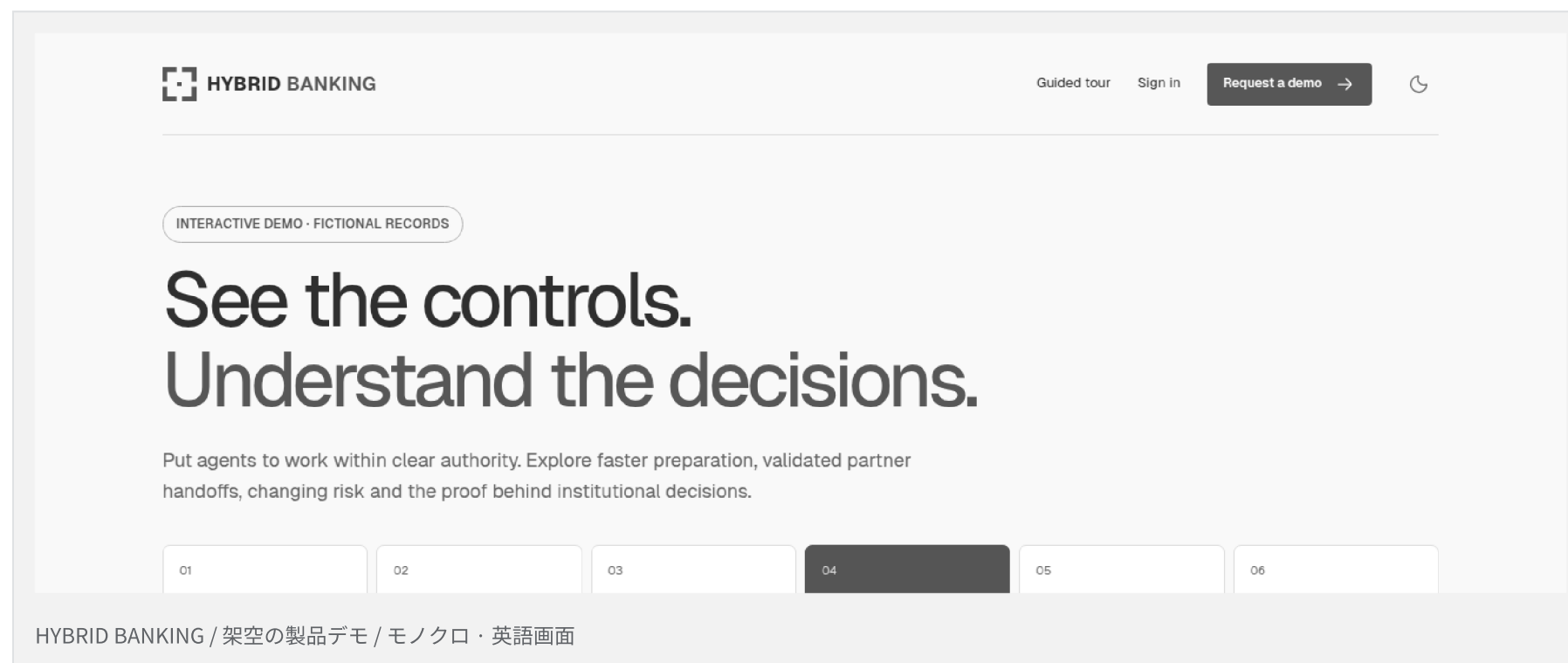
ID、地域ルール、必須スクリーニング、取引審査をつなぎます。

専門家の注意を集中

金額、受取人、時刻、ルールの根拠から異常パターンを説明します。

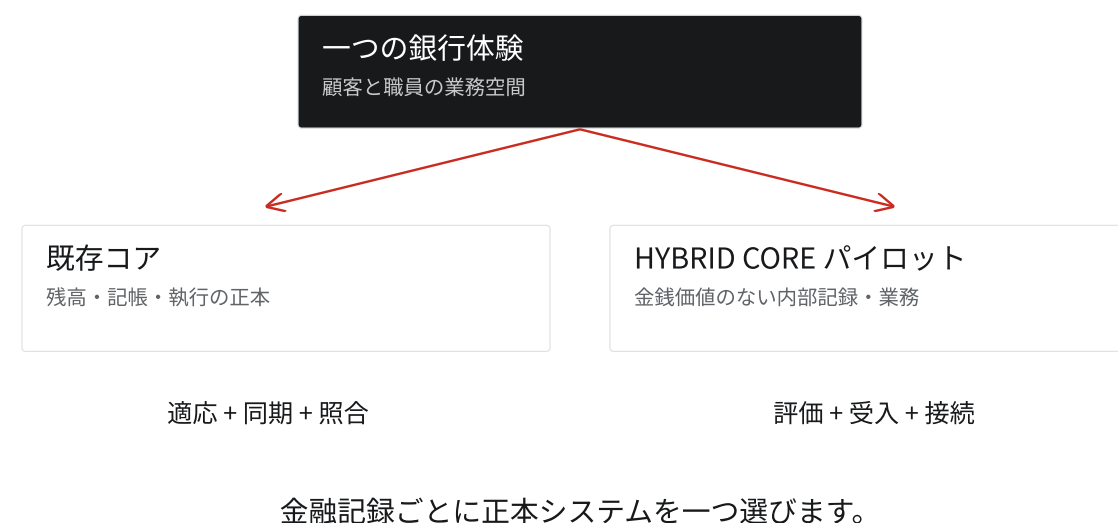
追跡できる証跡

アクセス制限された記録を保持し、一部の方針コミットメントをTestnetの証明で検証します。



既存コアを生かす。 またはHybrid Coreを評価する。

正本を管理するシステムを明確に選び、顧客と職員には一貫した体験を提供します。



既存機関を拡張

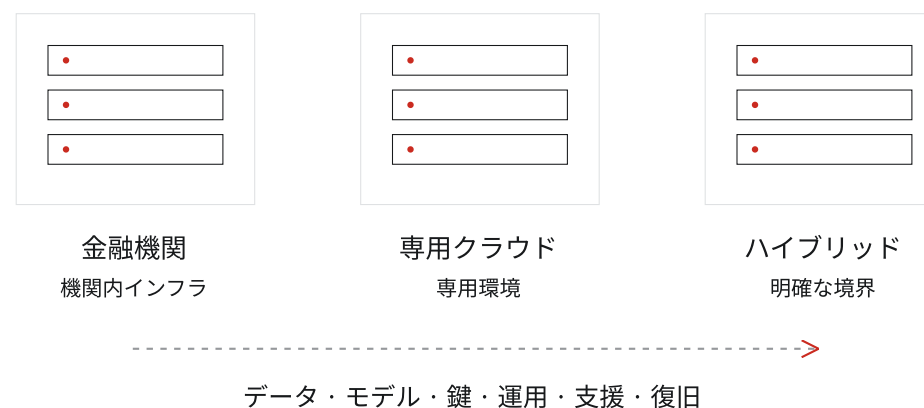
既存コアが残高、記帳、執行の正本を維持します。合意したアダプターが情報を同期し、実際の結果を返します。

新たな運営を評価

Hybrid Coreは内部パイロット口座、元帳記録、審査業務に対応します。外部金融サービスは個別に接続します。

境界を定め、 着実に広げる。

データの所在、運営責任、接続するサービスに合わせて配置を設計します。



機関内インフラ

ローカルデータ、モデル実行、鍵、管理、支援アクセスを定義します。

プライベートクラウド・ハイブリッド

許可される場所に処理を置き、環境間の境界を明確にします。

Federation・事業ネットワーク

新たな関係を開く前に、相手方、サービス範囲、同意に基づく情報共有を合意します。

今、評価する。 根拠を得て有効化する。

動作する金銭的価値のないパイロットを出発点に、機関固有の統合へ進みます。

動作するパイロット

顧客・チーム業務、Hybrid-IDログイン、方針・案件管理、Testnet上で最終確定した一部の遵守証跡。

貴社向けに定義

コアアダプター、許可されたエージェント接点、ホスティング、パートナーサービス、運営責任。

実利用前に受入

権限、安全性の保証、照合、復旧、サポート、実際の提供者接続。

パイロットの成功は次の判断の根拠です。自動的に本番へ移るものではありません。

11 / 次の対話

一つの体験を選び、 OVRYDEと確かめる。

事業、業務、リスク、技術の担当者が、一つのワーキングセッションに集まります。

持ち寄るもの

顧客の優先課題、コア・事業者一覧、許容範囲、ホスティング要件。

持ち帰るもの

範囲を限定したパイロット、責任者、統合依存関係、測定可能な受入基準。

金融機関向けワーキングセッションを始める。 ↗